

平成 26 年度外部評価所感

● 委員長 佐藤 徹

・評価すべき点

冒頭の概要説明を割愛したことで、昨年度よりも質疑応答に時間を割くことができたのは良かったと思う。

また、各施策担当課はヒアリングに臨むため、相応の準備をしていたことがうかがえた。この点は評価してよいと思われる。

・改善すべき点

一つの事業しかない施策も散見された。これには総合振興計画策定時の問題や事業単位の設定の問題などを含んでいる。また以前からの問題として施策評価指標が適切に設定されていないという点が今回でも明らかとなった。どのような指標を設定するかによって、施策の進捗状況や資源配分の評価にも少なからず影響がある。施策評価指標の設定は、基本計画の策定時に十分留意すべき課題である。

● 副委員長 長野 基

・評価すべき点

まずもって、事前質問を含め各委員からの各種質問に丁寧にご対応いただいたことに感謝いたします。

また、明確なエビデンスに基づいたロジカルな施策構成であることを複数の部署から報告いただけたことは政策・施策準備プロセスと担い手であるスタッフの充実度合を示すものと拝察いたします。

・改善すべき点

上記の裏返しともなりますが、残念ながら一部の部局ではエビデンスを持ちえていながらそれが報告されない、調査のための投資が実際の政策・施策構築に反映されていない、という状況も観察されました。エビデンスについて内部管理用の施策評価シートで言及されていないということは、個別部局内での検討プロセスの問題だけではなく、市全体の政策検討工程上の課題と言えるのかもしれませんが。

今回は当該部局からのプレゼンテーションを設定せずに評価検討を実施する方式にトライしました。この方式の延長で考えますと、評価検討シート上に設定されている点検検討項目に対して、所管部署からの自己評価（回答）を内部管理用の施策評価シートとは別に作成する方法の採用を検討してもよいかもしれません。

● 委員 加藤 暢一

この度は、戸田市外部評価委員会に評価委員として参加させて頂き、あらためて、御礼を申し上げます。

戸田市役所は、現状の人員、予算の中で、常に、住民サービス向上と新しい取組みを積極的に行われており、高く評価することができます。

一方で、社会や経済がめまぐるしく変化する時代にあって、今後さらに取り組むべき課題として、次のテーマを検討していただければ幸いに存じます。

・評価すべき点

- 1 自己評価の内容について、外部の第3者が外部評価を行って、第3者として意見を述べている点が評価できる。
- 2 外部評価によるコメントを積極的に市の行政経営に生かしている点が評価できる。

・課題

1 地域防災力の強化

昨今の地球温暖化の影響による超大型台風、集中豪雨、土砂崩れ、また、首都直下大地震、噴火、火事等のリスクについて、今までになかったようなリスクが顕在化しております。

今後新たに起こりうる災害を想定して、より安全なまちづくりを推進していただき、また、タイムライン（事前行動計画）等についても検討をすることも必要です。

2 防犯体制の強化

従来、戸田市では自転車窃盗等の犯罪が多かったが、昨今国内で、凶悪犯罪が増加しつつあります。戸田市は児童数が増えていることから、そのような犯罪を未然に防止するべくより積極的な対策を検討することが必要です。

今後、安心、安全なまちづくりを推進することにより、さらなる若いファミリー世代を受け入れる環境づくりをすることが、今後の人口増を図ることにもつながります。

3 都市マスタープランの推進

現在、日本国内の特に地方では人口減少が急速に進んでおり、今後、首都周辺地域でも人口減少する可能性のある地域がでてくることが予想されています。

現在のところ戸田市は人口が増加することが見込まれておりますが、今後の周辺地域の人口動態にも留意して都市マスタープランの策定、見直しをする必要があります。

また、公共施設、インフラ資産の総合管理計画の策定にあたっては、都市マ

スタープランと連動することが必要であり、都市マスタープランの策定、見直しにおいては、留意する必要があります。

4 新曽中央地区の整備

新曽中央地区に対し最終的な整備までにかかる総コストが推計されておりますが、一方で戸田市全体の既存の公共施設、インフラ資産の維持管理では、今後30年間で3,000億円の総コストが見込まれております。

今後の戸田市の財政状態を考慮して、必要に応じて見直しをすることも必要です。

5 男女共同参画の推進

女性の活躍推進、女性のライフステージに応じた活躍支援、女性の仕事と子育てを両立できる環境整備、女性の登用推進等をはじめとする施策に対して、さらに積極的に取り組んでいくことが必要です。

6 民間活力の導入

変化の激しい時代にあって、新しい住民サービス、新しい取組みを積極的に推進するためには、新しいアイデア、ノウハウ等が必要です。

そのためには、民間の知恵やノウハウを活用することも重要です。

特に、アセットマネジメント、財務マネジメント、システムマネジメント等の分野では専門知識が必要となりますので、今後も民間活力の有効活用を検討する必要があります。

7 施設の計画的な管理

現在の限られた財政状態の中で、巨額なコストが必要になるのが公共施設、インフラ資産の建設、維持管理です。

適正な財産の維持更新を続けていくために、市は財務部、資産管理課で施設白書を作成しました。

特に、今後30年間に既存の公共施設、インフラ資産の財産の維持、更新等で3,000億円以上のコストが発生するという推計がなされております。

戸田市の財政規模で、現実的にコスト負担が可能かどうかを検討し、公共施設、インフラ資産の老朽化等も考慮して、既存ストックの計画的な維持、長寿命化、多機能化、統廃合等も検討して、更なる効率化、有効活用を図ることが必要です。

その際には、市の組織横断的なPT等も設置するなどして、各부가一緒になって、市の全体最適を図れるような公共施設、インフラ資産の方向性を具体的に検討していくことが重要です。

また、新公会計における固定資産台帳等のデータを検討に十分活用することも必要です。

8 その他

今回の外部評価では、事前に質問をする形にしたことで、効率化が達成できました。

反面、事前の質問や回答の検討をするときに、各施策、事業に関するパンフレットやより具体的な資料等があったほうが、さらに、効果的な検討が可能になると思います。

● 委員 引地 智宏

・評価すべき点、改善すべき点

昨年に引き続き外部評価委員のお役をさせていただき大きな学びがあった事を感謝申し上げます。

昨年、本市においては自治基本条例が制定され、今後官民一体の行政運営が促進して行かれる事もあり行政マネジメントの更なる向上が必要とされているかと思えます。戸田市は神保市長のこれまで推進して来た健全な財政運営により全国でも少ない安定した行政ではありますが今後進行する高齢化、人口減少、産業の衰退等、懸念される問題をいかに官民一体となり互いに支え合う事が重要になって参ります。

ヒアリングの中でも発言させていただきましたが今後、官民一体の推進に必要な官と民の橋渡し役となる「エースコーディネーター」の発掘、育成が官民双方に必要だと感じております。

行政においては類似した事業も多々ございます。部署を超えた横の連携、プロジェクトの推進が今後活発に行なわれる事を強く望みます。

「民による行政参画元年」

自治基本条例制定が制定し民間においても行政の事業にもっと目を向け参画する意識を持ち、啓発勉強会、シンポジウムを行政と連携し行なう事で市民の意識改革を共に推進できればと考えます。

「市民」は自治基本条例、会議により活発な意見交換と参加の意識の向上を持ち「企業家」は中小企業進行条例、会議にて活発に参画し決して補助金に依存せず自らの企業体質の改善、強化により自主的な経営を推進に地域雇用、法人税を生み出す努力が求められる。

「行政」は市民の積極的な意見を吸い上げ行政施策、事業にいち早く反映させる仕組み、スキルの強化が今後求められるでしょう。

戸田市は全国的に見ても先進的に様々な事業を積極的に行っており自治体としては自慢の市ではありますが今後大きく変化する環境を見据えた将来的に永続可能な自治体になります様今後もより一層の努力をお願いいたします。

● 委員 駒崎 元庸

・ 評価すべき点

多岐に亘る施策の内、8項目を選び、評価させて頂きました。各担当部局の皆様方の真摯な取り組みには、敬服致します。何れの施策も重要でありますが、そんな中、以下の内容について、評価すると同時に、更なる最重要事項として、取り組まれる事を望みます。

近い内に必ず来るであろう大災害、特に震災に対し、「地域防災力の強化」、「防災体制の強化」の施策に対しては、ハード面も然ることながらソフト面で市民一体での取り組みを評価すると同時に、今後尚一層の予算の強化と、その取り組みに期待します。

担当部局の皆様の説明スキルの高さには敬服致します。又、女性の今まで以上の活躍には、尚一層期待いたします

・ 改善すべき点

「防災体制の強化」の施策の内、不当要求対策事業は馴染まないと、指摘させて頂きました。極力費用の発生を抑え、外部に頼らず職員間のスキルアップを期待します。尚一層の、……『暖かさのある窓口を』！で。

「新曽中央地区の整備」もさる事ながら、多額の費用が発生するこれ等の事業は、『人口減少時代の訪れ』と、『不便さの甘受』と云ふ観点から立ち止まり考え直す必要があると考えます。

● 委員 星山 孝子

・ 評価すべき点

[ヒアリング時]

今年度は、防災に関する広がりや意識の高まりを身近に感じられ、当日のヒアリング時も当該部局からの熟考された回答を的確に頂く事が出来ました。全体的には、庁内での本取り組みの認知度が上がった感じがしました。意識も積極的である皆様にお会いできました。外部評価委員会の役割への認識が高まり、前向きなご回答を頂く事が多くなりました。この活動が庁内に於いてネガティブな印象では無くなりつつあると感じ、今後益々のご発展を期待いたします。

[外部評価委員会及び運営]

事前質問制が導入され、よく調べ準備し自分なりに練った質問を、事前質問で出来る事、またその回答を予め確認する事も出来、十分な準備が出来ました。また、これらの準備機会を通じて、戸田市の取り組みや今をより多く幅広く知る事が出来、学びの機会にもなりました。

経営企画課での問い合わせへの対応が迅速になり改善されていました。電子メー

ルと電話でのやり取りを効果的に活用され、より細かく対応頂きました。委員への期限付きの問い合わせに関しては、比較的期限を先に設定された問い合わせ案件が多く、回答への時間的制約をあまり感じませんでした。

・改善すべき点

[ヒアリング時]

事前質問によって、ヒアリング当日の質問への対応に迷いました。重複する恐れもあり、質問を選びましたが、質問の量が少なくなりました。全く質問しない事は避けるようにしましたが、量としては少なくなりました。一方でこれらは事前質問導入への効果であったと思われ、当日のヒアリング時のより効率的運営の可能性を期待しました。

[外部評価委員会及び運営]

各委員の各役割とその特色を持った質問に特化出来る様に、市民委員も努力をしたいと思いました。外部評価委員会の機会が決して否定的なやり取りばかりを追求する場では無く、前向きな機会として機能すべく、市民委員の役割の定義をもう少し領域や視点を具体化若しくは明確化し、双方に気付きと理解を深める事が出来る相互効果の有る学び実りのある機会へと、今後もより一層の試行錯誤を期待します。